

サイ波動薬通信 特別速報版

www.vibriomics.org

病める人、打ちしおれた人、落胆した人、疾患に苦しむ人がいれば、まさにそこにあなたの奉仕の場があります・・・シュリサティアサイババ

第2. 5巻 第2号

2011年4月

☞ アガルヴァル博士の研究デスクより☜

サイ波動薬実践者の皆様

本波動薬通信は、昨今の情勢に鑑み、放射能や地震への防備や安全な食物摂取のために特別に寄稿されたものです。

今現在、震災で苦しんでいる日本の兄弟姉妹の方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、既に日本の実践者の方にお伝えしている（放射能解毒等に関する）コンボの処方が成果を挙げていると聞きうれしく思っております。そこで、この特別通信は、この困難な時期に、日本のみならず世界中の実践者の方々に上記事項に関する情報提供をさせていただくことで、みなさまの周りの方々の心身の健康促進に寄与することを目的としています。

本通信の大まかな趣旨としては、パニックになることなく事前の予防対策を十分に行うということです。日本の原子力発電所の震災事故によって漏れだした放射能は、かなり希薄されているとはいえ、気流に乗ってあらゆる国に拡散されており、我々の身体組織にとっては有害であることには変わりはありません。自らの身を守る解決策の一つとして波動薬の存在があります。本通信ではそのためのコンボの処方をご紹介します。みなさんの患者さん、ご家族、友人、ペットなどの動物その他の存在と分かち合っていたいただきたいと思います。

うれしいニュースもあります。我々の敬愛するヴァガヴァンシュリサティアサイババ様が完全な回復に向かって順調な経過を辿られているということです。しばらくの休養をとられた後、ヤジュールマンデルにおいでになられますことを切に願うものです。スワミの肉体に心臓ペースメーカーを埋め込むことが今回必要とされましたが、全宇宙のリズムを維持するための、スワミの本質である神聖なるペースメーカーは休むことなく動き続けています。

スワミ御自身は心臓の鼓動を少しでも損なうということはないはずです（ご自身ではなく私たちの苦悩や病苦を引き受けられる結果としてこうした現象がおきています）。一方、私たちはスワミの健康や世界の情勢を案じたり、間違った観点から苦悩を持ち続けるかもしれません。これらは、全託の心が欠けていたり、神への信念が十分でないことから生じます。ババはおっしゃいます、「体を曲げて（謙虚になって、奉仕の心を持って）、感覚の制御を行い、心を滅しなさい Bend your body; Mend your senses; End your mind」と。私たち一人一人が創造神のまったき表現の一つです。利己的性質を拭い去り、感覚を純粹にすることによってもはや心に惑わされることのないようにしましょう。思いと言葉と行動を、宇宙の主である、バガヴァンシュリサティアサイババ様にお捧げすることによってこのことが可能となります。私たちは幻（マーヤ・イリュージョン）の世界に生きています。社会の中で、思考は様々に条件付けられ、形付けられています。限られた経験が、個別化された自我の領域を超えることを妨

げています。一日の中、数分間でも確保して、サイの御教えを学び、主の御名を唱え、バジャンを歌うことが内なる神を見出す手助けとなります。

何か特別な「こと（事象）」を祈るのは最良の方法ではありません。バガヴァンババの本質は有限な肉体に宿られた全知全能の至高神です。神は私たちを目覚めさせるために「神の遊戯」を演じています。私たちが神と一つになるために、私たちをある時はなだめ・慰め、ある時は厳しく、人生の坂道を上っていくように諭されます。バガヴァンにお祈りいたします：

私たちの思いと言葉と行動が一つに調和して、あらゆる利己的な側面から解放された無私のところで、神の愛する道具となれますように、そのための最大の努力が行われますように。真の全託を成し遂げ、帰依者と呼ばれるのにふさわしい存在となれますように。

神のみが唯一なる行為者、全宇宙の壮大な演劇（人形劇）の演出者であり、我々が神の手の中にある人形であるということを知ること以上にもはや何を求めるといえるのでしょうか。我々の思いと言葉と行動の一つ一つが神を喜ばせるために捧げられ、またそのことによってスワミのお体の速やかな回復がなされますことをお祈り申し上げます。

サイの愛の奉仕の中で
アガルヴァル・ジット

放射能関係疾患に対するレメディの処方内容

波動薬マシンをお持ちの場合は以下の通りです。

NM12 Combination-12 + NM45 Atomic Radiation (30C & 50M) + NM63 Back-up + NM110 Essiac (CM & 10MM) + BR4 Fear + SM2 Divine Protection + SM4 Stabilising + SM5 Peace & Love Alignment + SM18 Digestion + SM23 Gastro + SR226 Cat's Eye + SR253 Calc Fluor + SR272 Arsen Alb (30C) + SR279 Cadmium Sulph + SR285 China Off (200C) + SR310 Radium + SR319 Thyroid Gland (200C) + SR320 Thyroidinum (200C) + SR324 X-ray (30C & CM) + SR356 Plumbum Met (1M) + SR507 Lymphatic Organ + SR509 Marrow + SR530 Stomach... 一日一回、少なくとも2カ月以上続けること

108のコンボをお持ちの実践者の方は以下の通りです。

CC2.1 + CC3.1 + CC4.10 + CC6.1... 一日一回、少なくとも2カ月以上続けること

上記いずれの場合でも、疲労・虚弱・吐き気・めまいなどの症状を訴えることがあれば、服用回数を一日3回に増やしてください。

☞ 健康コーナー ☞

放射能汚染に対する予防・対策には下記のようなものもあります。

1. フッ化物を含む歯磨き粉を避けてください。人体が放射能にさらされた場合、フッ化物はヨウ素を体内から排出させ、甲状腺を守る働きが低下してしまいます。

2. KI（カリウムヨウ素）錠剤の摂取は実際に放射能を浴びたと認識した時のみ行ってください。それ以外のケースでは健康な甲状腺を損なってしまいます
3. 健康志向の人は、その中に含まれるミネラルのゆえに海塩、もしくはクリスタルソルトを通常好みますが、今回のような事態にあってはスーパーマーケットに一般に売っている塩（0.01%のカリウムヨウ化物を含む）を摂る時です。それにより放射能から体を護る助けとなります。欧米では健康食品店で液状クログルミ、クログルミ錠剤、コンブなどが手に入ります。これらは全て、良質のヨウ素を大量に含んでいます。
4. 海藻類に含まれるアルギン酸ナトリウムであるアルギンは体内から放射能を除去する働きがあります。
5. 味噌汁は昔から放射能による損傷を防ぐ食べ物として知られています。この味噌汁に5グラムの乾燥わかめを加えることでその働きが2倍になります。しかしながら、将来的にはそのわかめがどこで育ったかをチェックすべきでしょう。科学的な研究によれば、海藻は体内の放射能同位体を中和することができるかとされてきました。マクギル大学の研究者によれば放射性ストロンチウムはわかめに含まれるアルギンと結合して無害の化合物であるアルギン酸ナトリウムを簡単に造りだすと発表しています。日本の研究では、紅茶にも同様な抗放射能の働きがあることが示されました。
6. 多量のビタミンCは被爆に対して有効で、レモンやオレンジ、リンゴも勧められます。色の濃い野菜（さつまいも、冬かぼちゃ、ビート、ニンジン、フダンソウ、ホウレンソウなど）をたくさん摂取することは放射能を起因とする癌の予防となります。キャベツ類（カリフラワー、ブロッコリー、ケール、かぶ、ルッコラ、からし葉、ブリュセルスプラウト、コラード）は放射能による細胞への損傷を防ぎます。ハーブのローズマリーもまた同様の働きがあると言われてしています。

放射能に対する予防・対策に関する更なる情報については下記のリンクがあります。

<http://www.naturalnews.com/012388.html#ixzz1GQpByxyX>

<http://www.naturalnews.com/026079.html#ixzz1GQnnUzRj>

追記

現在そして近い未来にあっては、体内に取り込む食物がどこで育ち、どこから来たのかをチェックすることが大切になります。これは、すなわち、空気中の放射性物質は初めに気流に乗って、ロシア東部、カナダ・米国西海岸へ、そしてそののち、ヨーロッパ北部へと運ばれるからです。放射性物質が舞い降りる時期が早ければ早いほど（その希釈度によって）その濃度が高いこととなります。すでに、カリフォルニア州では牛乳に含まれる放射能検査を中止していると聞いています。つまりは、基準値を超えての放射能物質の検出が危ぶまれていることが推測されるのです。もしも、これが真実であれば当面の間、米国のその地域一帯から産出される牛乳やヨーグルトは買い控えた方がよいこととなります。

魚や海産物を食する人々にとっては、それらがどの地域で獲れたものなのかを注意深くチェックする必要があります。海流もまた気流と同じような経緯をたどるために、放射性物質の拡散は北米・カナダ沿岸沖で強まる可能性があります。

北半球・南半球におけるジェット気流に関するリンクは下記の通りです。

日本の原子力発電所からの放射性物質の拡散ルートは地球上のジェット気流のルートと一致します。それゆえ、気象学者は放射性物質降下物の予測をこれらのジェット気流を基にしています。

通常のジェット気流のパターンについては以下のリンクを参照下さい。

<http://www.woeurope.eu/weather/news/fukushima?LANG=eu&CONT=glob&VAR=jet3&HH=0>

これらの予測は、実際の放射能に関しては若干の誤差が認められるにとどまり、これまで極めて高い精度を示しています。特定地域での放射能予測を比較したグラフは以下のリンクで見ることができます。

<http://www.woeurope.eu/weather/news/fukushima?LANG=eu&VAR=zamgvalidation&HH=-284683> (実際の予測モデル)

数日間を単位とした、時間とともに経過する特定放射能のより具体的な予測マップに関しては毎日更新される下記のリンクがあり、地図の上部に日付が記載されています。

<http://www.woeurope.eu/weather/news/fukushima?LANG=eu&VAR=zamgxenon&HH=0>
<http://www.woeurope.eu/weather/news/fukushima?LANG=eu&VAR=zamgiodine131&HH=0>
<http://www.woweather.com/weather/news/fukushima?LANG=us&VAR=niluhemis133&HH=1&LOOP=1>
<http://www.woeurope.eu/weather/news/fukushima?LANG=eu&VAR=euradsfc>
<http://www.woeurope.eu/weather/news/fukushima?LANG=eu&VAR=eurad2500>
<http://www.woeurope.eu/weather/news/fukushima?LANG=eu&VAR=eurad5000>
<http://www.woeurope.eu/cgi-bin/expertcharts?LANG=eu&MENU=0000000000&CONT=glob&MODELL=gfs&MODELLTYP=1&BASE=-&VAR=jet3&HH=0&LOOP=1&ZOOM=0&ARCHIV=0&WMO>
(環状につながる世界のジェット気流)

☞地震の際にどこに避難すべきか ☜

この情報はみなさんの周りの人、全ての人に伝えてあげてください

地震やハリケーン、竜巻の際、テーブルの下にもぐったり、廊下に立ったりしなさいと言われたことがありますか？ここでは、そうした先入観を取り去って下さい。今まで思ってもみなかったような情報がここにあります。これにより誰かの命が救われるかもしれません。

ドウグ・コップ氏の記事「三角形の空間が命を救う」からの抜粋

私の名前はドウグ・コップです。私は世界で最も経験豊かであると言われている米国国際救助隊の隊長と災害救助管理者を務めています。地震の際には、この記事で紹介している情報に従って行動していただくことで命が救われることになるかもしれません。

私はこれまで875の崩壊した建物の下を這って救助活動を行ってまいりました。60カ国からの援助隊とともに、また数カ国で創設された救助隊とともに任務を遂行し、そして多くの国の救助隊の一員として活動に参加しました。また、国連の災害鎮静部門の専門家として2年間働き、同時多発のケースは別として、1985年以来世界のあらゆる主要な災害に携わってまいりました。

私が初めて、崩壊した建物のがれきの内部を這いつくばったのは1985年にメキシコシティで起こった地震の際のある学校でした。すべての生徒が机の下で見つかりました。そして全ての生徒がその机の下でつぶされてしまっていました。彼らは机と机の間の通路に横たわることによって命を守ることができたかもしれません。こうした避難方法の情報不足による惨事はあってはならず極めて残念なことと言えます。

簡潔に言えば、建物が崩壊すると、上から落ちてくる天井などの落下物が下の階にある机や家具をつぶし、**その下ではなく、横に空間を残していきます。**この空間を私は、「命を救う三角形の空間」と呼んでいます。机や家具が大きければ大きいほど、空間は広く強固となります。その空間が大きければ大きいほど、そこに生まれる避難空間は広くなり、ここに逃げ込むことによってけがをする確率も少なくなるのです。崩壊した建物を、次回テレビ等で見る時には、こうした三角形がどこに作られているかを数えてみて下さい。実際、崩壊現場では三角形はとてたくさん見出すことができます。

地震の際、安全を確保するためのアドバイス

1. 建物が崩れ落ちるとき、ただ単に何かの下に潜り込んだ人は潰されて死に至っています。車の中や机などの物の下に逃げ込んだ人も潰されています。
2. 猫や犬、赤ちゃんなどはしばしば「胎児の姿勢」をとりますが、地震の際にはあなたもそうすべきです。この姿勢は自然な生存本能から来ています。より小さな三角形の空間でもこの姿勢によって生き延びることが可能です。必ず頑強そうな物の横、ソファやベッド、大きなものの横でこの姿勢をとって下さい。ここに三角形の空間が生まれます。
3. 木造建築物は地震の際には最も安全な建物です。木は柔軟で地震の力に合わせて動きません。たとえ木造建築物が崩壊したとしても、大きな（生存のための）空間が生まれます。また、木造は崩壊する際の落下物重量がより小さいと言えます。レンガ造りの建物は個々のレンガが飛び散り、けがをする可能性も高くなりますが、コンクリートの厚版に比べれば崩れる重量は少ないです。
4. もし、地震が起こった時、夜ベッドの中にいたとしたら、そのままベッドから床に転げ落ちることです。命を救う空間はベッドの周りにたくさん生まれます。ホテルでは、各部屋のドアの内側に、地震の際の避難場所としてベッドの横の空間を指摘する注意事項を表記することで、地震災害における極めて高い生存率を達成することが可能です。
5. もし地震が発生し、部屋や窓から外へ逃げ出すことができない時には、ソファや大きな椅子などの横で「胎児の姿勢」をとって、横たわってください。
6. 建物崩壊時に廊下にいた人は例外なく圧死しています。なぜでしょうか？廊下ではドア柱が前後に揺れ落ち天井の落下によって潰されてしまうのです。ドア側柱が横になって落ちてくるケースでは、肉体は2つに切断されてしまいます。いずれにしても生存の確率はありません。
7. 階段には決して行ってはいけません。階段は揺れの時間が建物本体と異なるのです。階段や建物付属物は構造的な崩壊が起こるまでお互いに絶え間なくぶつかり合います。階段が崩れる前にそこにいた人は階段の踏面によって幾重にも切断されてしまいます。建物が崩壊しないとしても、階段は避けた方が無難です。階段は建物の中で損壊を受けやすい場所なのです。地震そのものによって階段が崩れないケースでも、その後、避難する人々の重量で崩れることもあるかもしれません。建物の他の部分が損壊を受けていない場合であったとしても、階段は常に安全面で注意を怠ってはいけません場所なのです。
8. できれば、建物の外壁の近く、もしくは建物の外へと避難してください。建物の中にいるよりも、外に（それが建物の近くであったとしても）いる方がずっと安全なのです。建物外部からの距離が遠い建物内部にいればいるほど、避難ルートが遮断される可能性が高くなります。

9. 地震発生時に車の中にいた人は、上部の道路が落ちてきて、車ごと潰されてしまっています。ニミッツ高速道路ではまさにこのことが起こりました。コンクリート厚版が落ちてきたのです。サンフランシスコ大地震の際には車内にみんなが退避していました。そして全員が死亡しました。彼らは、ただ単に車から出て、車の横に座るか横になるかによって簡単に難を逃れることができたのです。大きな柱が倒れ下敷きとなった車を除いて、潰された車は全て3フィート（約1メートル）の空間をその横に造りだしていました。

10. 崩壊した新聞社のオフィスや他の被災現場で救助にあたった際には、大量の紙が圧縮されることなく、その周りに大きな空間を作りだしているのが見出されました。

1996年、私の提唱するサバイバル法を実証する映画が作られました。トルコ連邦政府、イスタンブール市、イスタンブール大学事例研究部会、そして米国国際救助隊が協力し合い、実践的で科学的なテストを映像化したのです。一棟の学校と一軒の家の中に20体のマネキンを設置してこれらの建物を人工的に崩壊させました。10体のマネキンは物の下に配置され、もう10体のマネキンは「三角形の空間」メソッドを用いて置かれました。地震のシミュレーションによって建物が崩壊したのち、我々はがれきの中を這って進み、災害の発生状況を映像に収め、結果を記録しました。建物崩壊に関するこの映像は、実際に「三角形の命の空間」メソッドを直接観察可能な科学的な条件のもとで模擬実験を収めたものですが、物の下にもぐりこんで避難したケースの生存確率は0%であったことが実証されたのです。

もし、私の提唱する「三角形の命の空間」メソッドが用いられることがあれば逆に100%の生存確率であった可能性があります。この映画はトルコや欧州各国の何百万もの人々によって視聴されました。そして、米国、カナダ、ラテンアメリカでも、リアルTVという番組で放映されました。

私たちは一つの翼を持つ天使なので、舞い上がるには2つの翼が必要です。この情報を広く分かち合い誰かの命を救って下さい。世界全体が自然災害を体験しつつあります。それに気づき、準備を怠らないようにしてください。—ドуг・コップ氏の記事「三角形の空間が命を救う」からの抜粋

もし、車内にいたら外に出て、車の横に座るか、横たわって下さい。何かが上から落下しても車の周りに空間を作り出します。下の写真参照：



「三角形の命の空間であなただの命を救ってください。」



安全な空間（三角形）はベッドやソファー、その他大型の家具の周りに造られます。「胎児の姿勢」をとって丸くなり、小さな空間に収まるようにしましょう。



視覚化

病気や災害が私たちが襲う時、私たちが健全に保たなければならない最初で最後の手段はもちろん思考です。あらゆる行動の前に思考が先行することからも、このことは論理的に言えることです。思考を特定のイメージとして視覚化することは極めて強力です。深刻な病気を患っていても視覚化によって自らを治癒してきた人々がいます。防護服によって自らが覆われ、あるいは大きな光のボールの中に自らを置き自らを守ることによって、放射能がもたらすいかなる毒性にも影響されないようにしてみたいかがでしょうか。

あなた自身が大きなボールの中に、あるいはマントの中にいるとイメージしてみてください。そのボールあるいはマントはあなたを黄金の光で包み守ってくれます。いかなる有害なもの

ものボールやマントに当たって跳ね返され、もとの来た場所へと戻っていきます。これにより有害なものは何であれ、あなたの中を通ることはありません。恐れに関するあらゆる思いを手放し、それを神に手渡しなさい。あなたは光のボールやマントの中で安全で守られ、愛されています。あなたは安全で守られているという思いを持って平安でありなさい。あなたは黄金の光の中にあって守られているという確信を持って深呼吸しなさい。

この種の視覚化は、あなた自身や家、車、家族などが潜在的に保護を必要としているいかなる状況下でも有益です。こうした視覚化が規則的にかつ集中力を持って行われる時、極めて多大な効験をもたらすことが可能です。

最後になりますが、我々の主であるサティアサイの御力はいかなるものの中でも最大のものであり、主への信愛と、人類同胞に対する主への祈り、特に自然災害や戦争で苦しんでいる全ての兄弟姉妹に対する祈りによってあらゆるものの中で最高の保護が与えられることでしょう。

世界のあらゆる存在が幸せでありますように

☞ 治癒者の中の治癒者である神からの御言葉集 ☜

2011年4月3日今日の言葉より

あなたの想いを制御しなさい。想いを正しく分析し観察すること、およびハートを純粹に保つことは極めて大切です。あなたの想いを神に捧げなさい。神があなたに代わって全てを行ってくれるでしょう。神への帰依心を持って熱心にあなたのやるべきことを果たしなさい。神はどこにでもいるのだという確信を持ちなさい。神はここにはいるが、あそこにはいないといった誤った考えを持ってはいけません。あなたが神を見出そうとするところにはどこにでも常に神はあなたとともにあります。神は全宇宙に浸透しています。ほとんどの人はこの真理に気づくことはありません。神はあらゆる存在の中にあります。蟻のような小さな虫から象のような大きな動物に至るまで全ての生命に神は宿っています。神は、砂細工の中の砂の一粒、あるいは砂糖菓子の中の砂糖の粒子のようにその存在の最小単位であり、その存在の全体そのものなのです。

2006年3月30日 ご講話

神は愛です、愛に生きなさい。 —ババ

波動薬通信についての御意見や御質問をnews@vibrionics.orgまで御送りください。

ジェイサイラム！

サイ波動薬・・・すぐ手の届く優秀な因縁を旨として・・・無料の因縁へ